



The Knights

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

グリーン調達 日米欧で共通基準

グリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI)と米欧の業界団体は、カドミウムや六価クロムなど管理が必要な合計 24 程度の化学物質を共通調査対象とすることで最終調整に入りました。遅くとも 05 年 3 月末までには、日米欧 3 極共通のグローバルガイドラインが発効すると見られます。これに伴って、日本で使用されている既存の共通ガイドラインも改定されます。

電気・電子機器を対象に特定有害物質の使用を制限する、欧州特定有害物質規制(RoHS)が 06 年 7 月に施行される影響もあり、国内各社は部材を調達する際に化学物質含有量などの把握が不可欠となっています。

現在、日本で運用されている共通ガイドラインは JGPSSI が策定したもので、サプライヤー(仕入れ先)の労力を軽減し化学物質調査を効率化するため鉛やカドミウム、六価クロムなど 29 物質を調査対象とし、回答フォーマットなども共通化しています。

国内では同ガイドラインをベースに、各社が実情に合わせてさらに独自の内容を上乘せし、サプライヤーに購入部材の化学物質調査を求めています。

JGPSSI はガイドラインを日米欧で共有することで、海外サプライヤーの負担軽減など、取引の円滑化に多くのメリットが期待できるとして、欧州情報通信技術製造者協会(EICTA)や米国電子工業会(EIA)とガイドラインの共通化をする方向で、協議を重ねてきました。

現段階では RoHS の 6 物質をはじめとする 24 物質程度の共通化に向けて、遅くとも 05 年 3 月末までには、新しいガイドラインが決定する見通しです。

資料:2005 年 1 月 18 日付 日刊工業新聞 P.1

機器分析箇所 有賀久枝

中国版 RoHS 策定

中国版 RoHS 指令は、欧州版と一部異なり IT 機器のみに適用され、製品の主な構成材料とリサイクルのための情報表示、製品の安全使用期限の明記を義務付ける最終草案が出される予定です。現在、中国政府の電子産業省第四電子研究所が標準化と製品カテゴリー決定作業を進めており、10 月に標準化案、2006 年 4 月に対象となる製品カテゴリー案をまとめる予定です。

中国版 RoHS 指令は、「電子情報製品生産汚染防止管理方法」という名称で、環境保護法やグリーン生産法などに基づいたものです。WTO 規定を基に準備されてきましたが、中国の実情や企業の状況、技術水準や生産活動に悪影響を及ぼさないように考慮されています。

規制の対象となる化学物質は、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテルの 6 物質で、濃度については国際標準を基本とします。また、6 物質の全面禁止は EU と同じ 2006 年 7 月 1 日からとなります。

資料:2005 年 1 月 12 日付 環境新聞 P.1

機器分析箇所 市川雅俊

下記の記事をご希望の方は編集室佐藤までご連絡下さい。

1. 平成 15 年度水質測定結果 環境省
2. 富栄養化防止へ法改正案 国交省
3. 食品からのダイオキシン類 1 日摂取量 厚労省
4. 環境マネジメントシステム JIS 改正
5. 環境報告書記載事項必須 7 項目(案)
6. PRTR 法 15 年度届出外排出量推計法案意見募集結果
7. ダイオキシン類の毒性評価実施 WHO
8. 市街地への農薬散布に対策 環境省
9. BOD, COD の基準達成率 環境省
10. 射撃場周辺 鉛汚染防止指針 環境省
11. 有害物質の情報開示を徹底 経産省
12. 環境関連 5 法案国会提出
13. 平成 14 年度廃棄物排出量 環境省
14. PCB 廃棄物保管・使用状況 環境省



事業内容

- 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析
- 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
- 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定
- 4 水道法第 20 条に基づく水質検査
- 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
- 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
- 7 トータルサニテーション管理
- 8 委託試験・研究・開発

R100

古紙配合率 100%再生紙を使用しています